

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
ゴールドカップ	2018/12/24	SII	浦和	1400m	ハイペース	良	コース適性

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	ロードフォワード	牡7	58	張田	ネオユニヴァース	サンデー系	Kingmambo	ミスプロ系	C	C	B	B	C	B	×2	
2	2	バンドオンザラン	牡4	58	森	スズカコースウェイ	ノーザン系	パラダイスクリーク	ナスルーラ系	A	A	B	B	A	B	◎	
3	3	クルセイズスピリツ	牡3	58	西	サウスヴィグラス	ミスプロ系	バブルガムフェロー	サンデー系	B	B	B	B	B	B	△3	
4	4	トキノエクセレント	牡10	58	高松	アツミラーレ	サンデー系	ブライアンスタイム	ノーザン系	B	C	A	B	B	B	△1	
5	5	キャプテンキング	牡4	58	坂井	ファスリエフ	ノーザン系	ブライアンスタイム	ロベルト系	A	C	C	B	B	B	○	
	6	キャンドルグラス	牡4	58	御神本	サウスヴィグラス	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	A	A	C	B	B	B	△2	
6	7	ソッサスプレイ	牡4	58	柏木	コンデュイット	ナスルーラ系	スペシャルウィーク	サンデー系	B	C	C	B	C	B	×1	
	8	トロヴァオ	牡5	58	本田	カネヒキリ	サンデー系	Cox's Ridge	ターントゥ系	A	B	C	B	B	B	▲	
7	9	メジャーアスリート	牡9	56	山崎真	ダイワメジャー	サンデー系	Storm Cat	ノーザン系	D	D	D	D	D	D		
	10	フィールザスマート	牡7	58	左海	ブラックタイド	サンデー系	Distant View	ノーザン系	D	B	D	C	C	C		
8	11	コンドルダンス	牡6	58	笹川	アドマイヤオーラ	サンデー系	キングヘイロー	ノーザン系	C	B	C	C	C	C		
	12	モリデンリオ	牡5	56	加藤	キングヘイロー	ノーザン系	カコイシーズ	アリダー系	D	D	D	D	D	D		

隊列図	見解	ラップタイム
クルセ バンド キャブ キャン トロヴ ロード ソッサ トキノ フィー コンド メジャ モリデ  ハイペース	<p>浦和は南関東4競馬場の中で最も適性の差が出やすいコース。浦和1400mで行われるさきたま杯、オーバルスプリントで地元の南関東勢がよく好走するのも、コース経験の差が生きてくるからだろう。南関東勢同士のレースでもそれは同じで、純粋な力勝負というよりコース経験・適性の差で明暗が分かれることが多い。今年のゴールドカップは、ハイレベルな勝島王冠で4着に健闘したキャプテンキング、2走前の東京盃でも見せ場を作ったキャンドルグラス、重賞の常連トロヴァオらが人気を集めそうだが、ここは適性重視で狙ってみたい馬が1頭いる。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は復活した<b>バンドオンザラン</b>を狙う。2歳の早い時期に頭角を現し、3歳になってから南関東に移籍。クラシックでの活躍が期待されたが、3歳で勝利したのは1200mの優駿スプリントのみ。古馬になってからも低迷していたが、今年の夏に水無月特別を1分40秒7の好時計で勝利すると（夏の重賞スパーキングサマーカップの勝ち時計が1分42秒5）、次走デイリー文月杯ではのちのオーバルスプリント勝ち馬ノブワイルドを下して勝利。（以下省略）</p>	<p>回顧</p> <p>次走狙い馬</p>

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ロードフォワード	×2	前走同条件のまがたま賞を勝利。相手関係を考えると、大して威張れないが、上位人気に推されるキャブテンキング、トロヴァオらが凡走するとすれば、本馬が相対的に着順を上げてくるかもしれない。		
2	2	バンドオンザラン	◎	今年の夏に水無月特別を1分40秒7の好時計で勝利すると、次走デイリー文月杯ではのちのオーバルスプリント勝ち馬ノブワイルドを下して勝利。前走総の国オープンは実質重賞級のメンバーで3着に好走。ここに来て明らかに復活を遂げており、左回りの1400~1600mなら重賞級の能力があるのは明らかだ。		
3	3	クルセイズスピリツ	△3	ハイレベルな3歳馬。前走黄葉賞ではキャンドルグラスに完敗したが、コース替わりは本馬にとってプラスに働きそう。マイベースの逃げを打てれば、残り目があっても驚けない。		
4	5	トキノエクセレント	△1	浦和専用機。かつては同条件のさきたま杯で2着に好走したほど。16年ゴールドカップの勝ちっぷりを見ても、浦和適性だけならナンバー1といえる。内枠巧者で内をスルスルと上がってくるのが上手いので、4枠4番から上手く内に潜り込めば、勝ち負けはともかく馬券圏内に加わるチャンスは十分にある。		
5	5	キャブテンキング	○	勝島王冠は南関東の中距離のトップホースたちが集い、ハイレベルだった一戦。本馬はマイベースの逃げに持ち込めたとはいえ、直線半ばまでは先頭を譲らずにしぶとく粘り込んでおり、見どころのある走りだった。JRA時代にはマイル以下の距離で活躍したように、元これくらいの距離の方が合っていそう。		
	6	キャンドルグラス	△2	東京盃でも5着に健闘したようにこのメンバーなら能力上位。問題は浦和1400mへのコース替わり。大井でも1400mではパフォーマンスがやや落ちるので、大井→浦和へのコース替わりはなんともいえないが、1200m→1400mの距離延長はマイナスに働くだろう。戦績から受ける印象ほど堅い馬ではない。		
6	7	ソッサスプレイ	×1	差し馬ながら器用な面があるので、浦和1400mは合いそうなタイプ。能力的にやや見劣る感否めないものの、今年のフジノウェーブ記念では4着キャブテンキングから0.1秒差の5着に健闘。展開ひとつで上位進出の可能性はある。		
	8	トロヴァオ	▲	3走前のさきたま杯ではJRA勢相手に5着に健闘。ここで当時並みのパフォーマンスを発揮できれば、上位争いに加わっても不思議ではないだろう。気性的にやや乗り難しい面があり、あたりの柔らかい本田騎手とは手が合っている。道中で前に壁を作って溜めを作れるかがカギになる。		
7	9	メジャーアスリート		条件問わずレースに参加することだけが目的。回ってくるだけで終わるだろう。		
	10	フィールザスマート		JRAオープンクラスまで出世したが、南関東に転入後、期待されたほどの走りができていない。今回も苦戦必至だろう。		
8	11	コンドルダンス		前走総の国オープンは長期休養明けも、戦績的にピークを過ぎたのは明らか。重賞では荷が重いのでは。		
	12	モリデンリオ		前走まがたま賞ではロードフォワードに完敗。別定の重賞では荷が重い。		